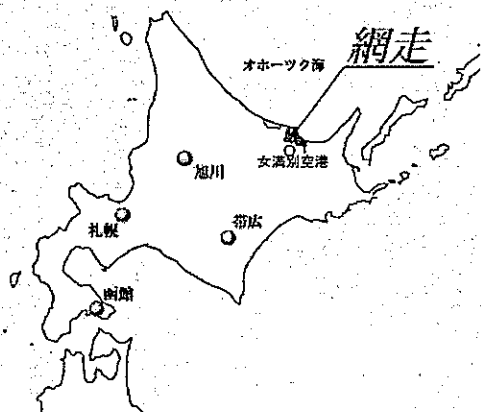




# 北のスポーツ基地“網走”を目指して 網走市のスポーツツーリズム

報告 網走市観光部観光課 湯浅 崇

## 網走市の概要



### 【網走市の概要】

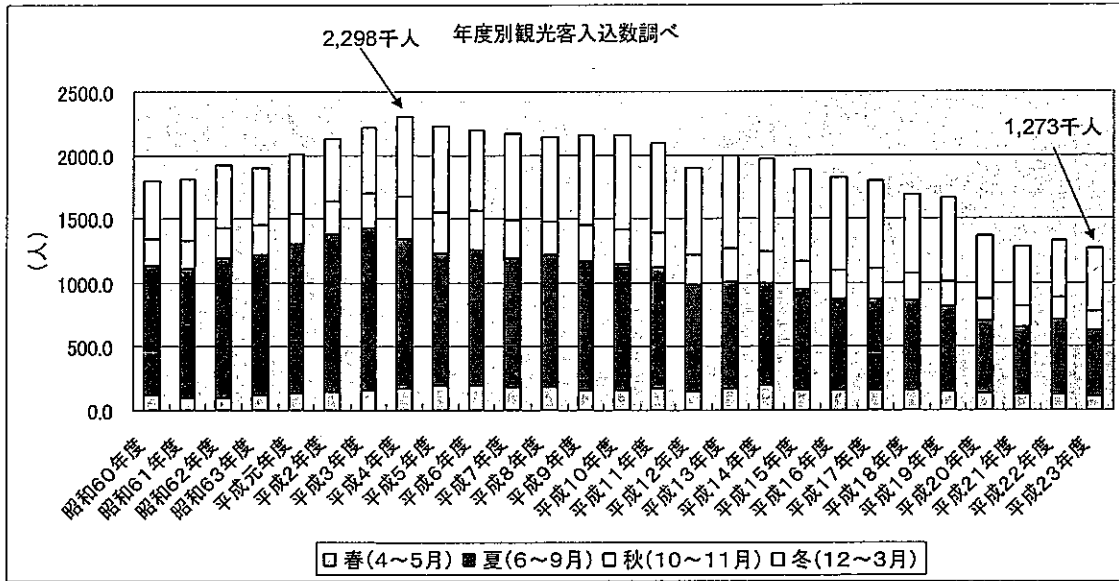
人 口	約4万人
面 積	471Km <sup>2</sup>
気 候	一年を通じて晴天が多く、年間降水量・降雪量は少ないのが特徴。海に面したまちであるため、寒暖差も少なく、北海道東部としては比較的温暖な気候。
地理的特徴	オホーツク海に面し、高い山がなく丘陵が多い土地柄。網走川の河口に位置し、市内には網走湖、能取湖、湊沸湖、葉琴湖などの湖沼が存在する。
主要産業	農業、水産業、観光
市 長	水谷 洋一

### 【交通アクセス】

航空機	羽田空港＝女満別空港 1日5便（JAL3便、ANA・AIRDO共同運航2便）所要時間100～110分
	新千歳空港＝女満別空港 1日6便（JAL3便、ANA3便）所要時間45～65分
	中部国際空港＝女満別空港 1日1便（ANA1便）所要時間110～125分
J R	札幌＝網走 1日4往復（特急オホーツク号）所要時間5時間30分
	石北本線・釧網本線の終着駅

# 網走市の観光の現状 (1)

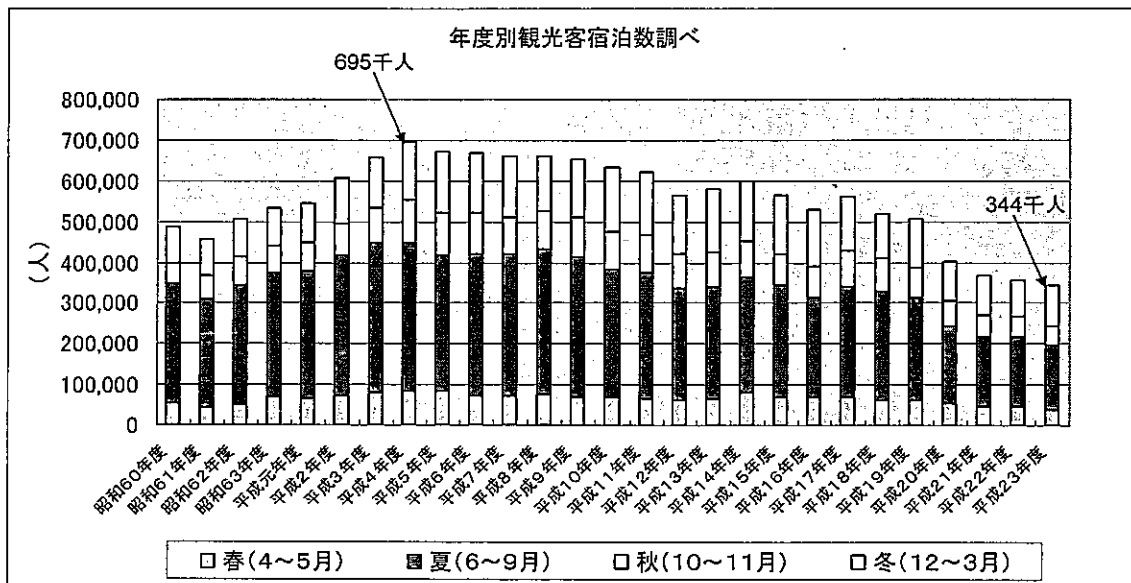
## 網走市の観光入込推移



②

# 網走市の観光の現状 (2)

## 網走市の観光宿泊者数推移



③

## 網走市のスポーツツーリズムの取り組み事例（1）

### スポーツ合宿誘致の取り組み

社会教育部スポーツ課が担当

- ・S63年 ソウル五輪直前合宿(ボート、女子体操、マラソン、バドミントン)地に指定  
網走市スポーツ合宿実行委員会発足  
法政大学ラグビー部合宿誘致（その後、実業団チームの受入に発展）
- ・H元年 網走スポーツトレーニングフィールド供用開始（現在、41.4ha）
- ・H20年 北京五輪陸上競技(マラソン、10,000m、5,000m)直前合宿受入
- ・H23年 ジャパンラグビートップチーム14チーム中8チームが合宿（7～8月）

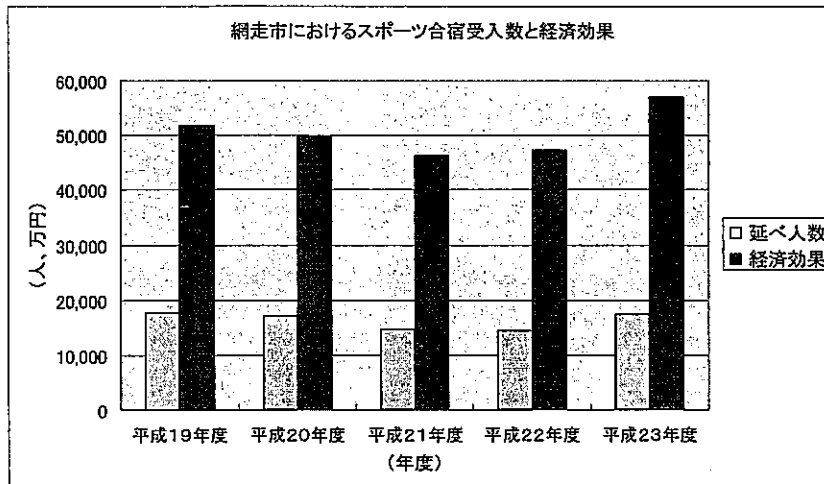
主な受入実績

陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20北京五輪直前合宿受入（マラソン:尾方剛選手、佐藤敦之選手、大崎悟史選手 5000・10,000m:松宮隆行選手、渋井陽子選手）</li> <li>・ケニア代表エリック・ワイナイナ選手(コニカミノルタ所属)の合宿受入</li> </ul>
ラグビー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H4、5、6、13、15年ラグビー日本代表合宿受入</li> <li>・H23ラグビートップリーグ14チーム中8チームの合宿受入</li> <li>・H16年より日本ラグビー協会レフリー委員会合宿受入</li> </ul>
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jリーグ5チームの受入(ジェフ千葉:H6、7、8、10 川崎フロンターレ:H9 セレッソ大阪:H11、12 ヴィッセル神戸:H16 名古屋グランパス:H19)</li> </ul>
ボート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S63、H5、6、22年日本代表合宿受入</li> </ul>
トライアスロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アテネ五輪代表中西真智子選手の直前合宿。</li> <li>・H12年より11年連続合宿。</li> </ul>
パラリンピック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイアスロン日本代表チームの合宿受入(H22)</li> <li>・日立ソリューションズスキー部の合宿受入(H22、23)</li> <li>・車イスレーサー土田和歌子選手の合宿受入(H23)</li> </ul>

④

## 網走市のスポーツ合宿受入の現状

### スポーツ合宿取り組みの推移



	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
チーム数	49	50	40	39	54
参加人数(人)	1,708	1,765	1,308	1,444	1,728
延べ人数(人)	17,705	17,070	14,601	14,404	17,436
経済効果(万円)	51,680	49,754	46,389	47,198	56,989

⑤

# 網走市のスポーツツーリズムの取り組み事例（2）

## スポーツイベント開催の取り組み

（経済部観光課 ⇒ H24より観光部観光課が担当）

- ・S63年 オホーツクスリーデーマーチを開催（2市3町で実施、3日間のウォーキング大会、当初9月開催）
- ・H18年 オホーツクあばしりツデーマーチに改名（網走市・北見市で実施、それぞれ2日間のウォーキング大会、6月開催）
- ・H22年 全国大学生旅プランコンペの実施（美ジョガーを対象とした着地型観光の可能性を模索）
- ・H23年 第25回でっかいどうオホーツクマーチ（あばしりツデーマーチ）を開催（全国マーチングリーグ、例年6月に開催）  
市民ランナーを対象としたスポーツイベントの可能性調査を実施
- ・H24年 経済部より観光部を独立させ「スポーツツーリズム」を一つの観光政策に掲げる  
トレイルランニングの大会開催を目的としたモニター事業を実施  
JSTA設立当初より加盟（スポーツツーリズムの更なる可能性について取り組みを開始）

### 平成24年度実施概要

<p><b>6月 オホーツクツデーマーチの開催</b> （あばしりツデーマーチ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングイベント（参加費1,500円）</li> <li>・全国マーチングリーグ（15大会）に登録</li> <li>・全国歩きたくなるみち500選認定コース</li> <li>・海鮮バーベキューの実施（参加費1,000円）</li> <li>・参加人数2日間延べ約1,000人</li> </ul>	<p><b>9月 トレイルランモニターツアーの実施（市単独）</b> （平成25年度より大会開催予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイルランイベントの開催を目的としたモニターツアー</li> <li>・金哲彦先生のアドバイスと協力をもとに実施</li> <li>・能取岬をゴールに林道を活用したコース（21.5km）を設定</li> <li>・網走の食と参加者の交流が楽しめるイベントを思考</li> <li>・次年度、プレ大会開催を目標に各種調整中</li> </ul>
---	--

※スポーツ合宿とは区別した個人参加型スポーツイベントとしての取り組み

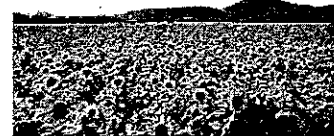
※交流人口の拡大、閑散期対策としての取り組み

⑥

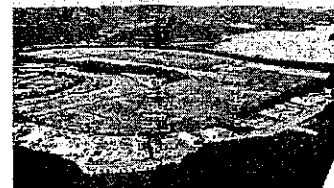
## 今検討しているスポーツイベントの概要（平成25年度実施予定）

大会名称	オホーツク・グルメトレイルラン大会（プレ大会）
開催時期	平成25年9月開催を想定
スタート時間	正午スタートを想定
想定コース	大曲湖畔園地（旧網走刑務所農場）⇒ 能取岬灯台 （3コース設定 約30km、約20km、約15kmコース）
参加想定規模	200～300名程度を想定
想定参加費	5,000円程度（大人）を想定
参加特典	ゴール後、大曲湖畔園地まで送迎の上、イベント参加（飲食可） 大曲湖畔園地において野菜の取り放題（試食可） 網走刑務所作製製品又は地場製品の進呈（参加賞）

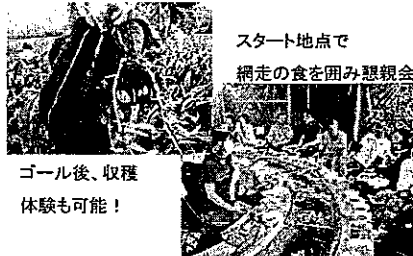
スタート地点の大曲湖畔園地では日本最大級のひまわり畑を演出



約80haの広大な体験農場

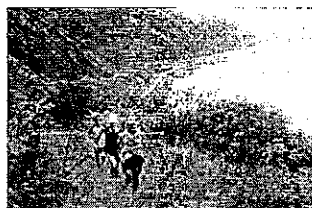


網走市大曲湖畔園地をスタート



スタート地点で網走の食を囲み懇親会

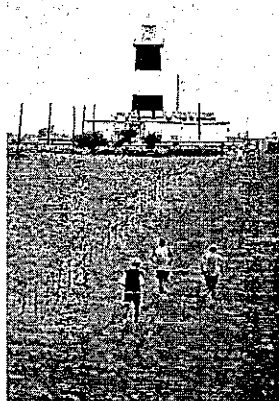
ゴール後、収穫体験も可能！



オホーツク海を眺めながら世界遺産知床を遠望



網走刑務所が管理する森や北海道の原始の森を駆け抜ける



オホーツク海に突き出た岬“能取岬”を目指しゴール！

⑦

## 網走市のスポーツイベント実施概要

### スポーツイベントの集客と参加実績

6月	でっかいどうオホーツクマーチ(あばしりツデーマーチ2日間)	参加者数:約1,000名
7月	インターナショナルオホーツクサイクリング(雄武町~知床斜里町) ホクレン・ディスタンスチャレンジ網走大会(陸上トラックレース)	参加者数:約1,000名 見学可能
8月	網走ラグビーフェスティバル(合宿参加チームによる練習試合)	見学可能
9月	オホーツクグルメトレイルラン大会(H25プレ大会開催!)	H25より実施予定
2月	オホーツク歩くスキーフェスティバル(クロスカントリーイベント)	参加者数:約130名

### 大会等の誘致の取り組み

- 2016年 全国サイクリング大会(網走市サイクリング協会)
- 2019年 ラグビーワールドカップ・ベースキャンプ地(網走市)



6月 あばしりツデーマーチ



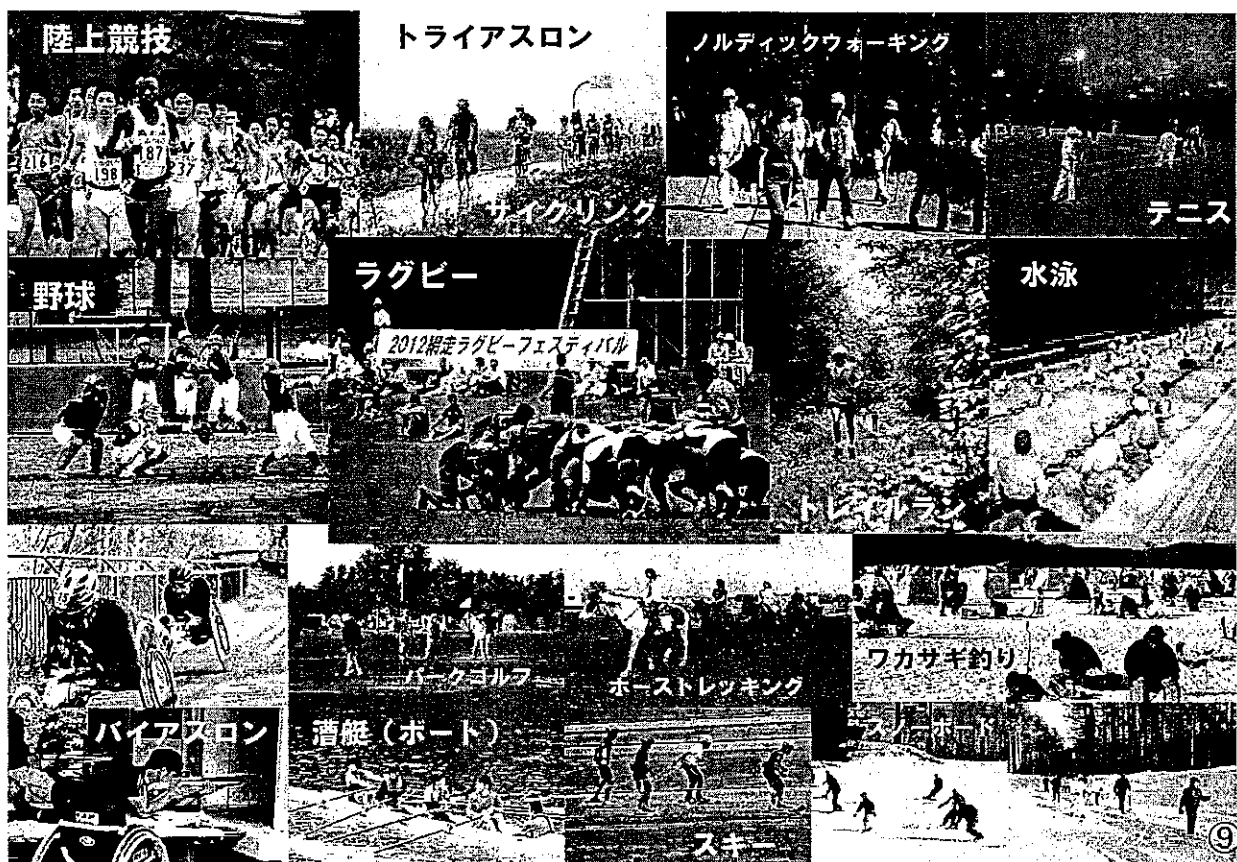
7月 オホーツクサイクリング



2月 歩くスキーフェスティバル

⑧

## 網走市で実施可能なスポーツコンテンツ

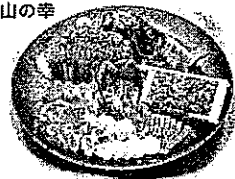


⑨

## スポーツツーリズムを支える優位性

- ① スポーツに適した気候条件
- ② 海・川・湖に広大な大地に恵まれたフィールド
- ③ 航空機を活用すればアクセス抜群
- ④ 充実したスポーツ施設（合宿は無料）
- ⑤ 美味しい海の幸・山の幸に温泉
- ⑥ スポーツツーリズム政策の存在

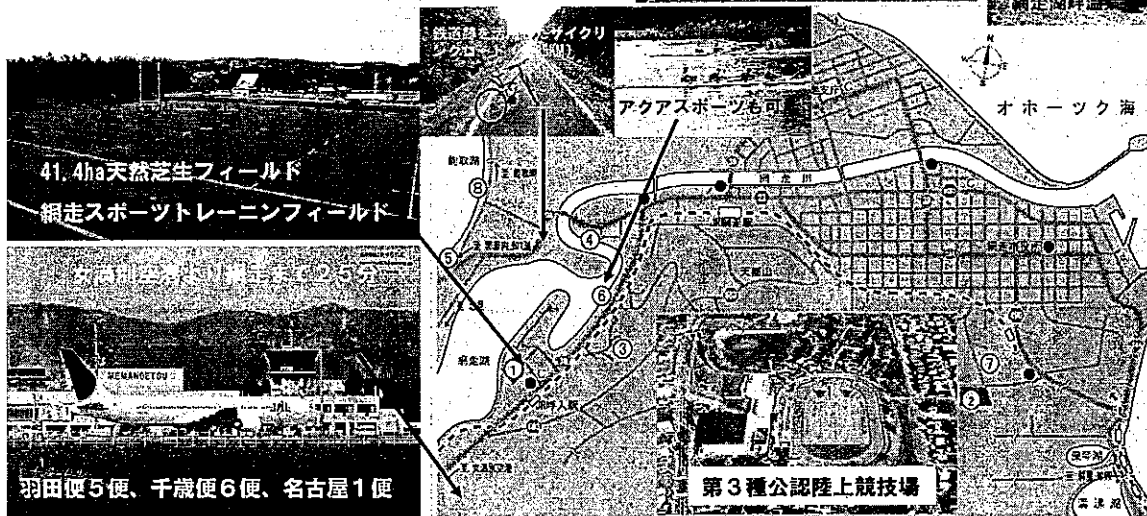
美味しい海の幸・山の幸



爽やかな気候と日照条件



網走湖畔



41.4ha天然芝生フィールド  
網走スポーツレーニンフィールド



羽田便5便、千歳便6便、名古屋1便

## 網走市が抱えるスポーツツーリズムの課題

### 課題1 アドバイザー・運営ノウハウの欠如

- ・地域において適格なアドバイザーが欠如している。
- ・スポーツ団体や支援組織との関係が稀薄である。
- ・スポーツイベント等の運営経験が少ない。

### 課題2 情報収集・情報発信能力の弱さ

- ・どのような視点からスポーツツーリズムを推進すればよいかわからない。
- ・地域に適したスポーツの選定が難しい。
- ・情報発信、プロモーション、プレゼン能力が欠如している。

### 課題3 運輸面の改善

- ・移動のための交通費が割高。
- ・移動手段が少ない。

### 課題4 受入体制の構築

- ・サポート体制の組織化が難しい。
- ・スポーツツーリズムに対するホスピタリティの向上が必要。

### 課題5 波及効果の実現

- ・スポーツツーリズムを核とした経済波及効果の拡大。
- ・明確な波及効果の数値化。
- ・地域観光資源との融合。

### 情報提供

#### 日本ハム 10th Seasonプロジェクト



北海道内すべての市町村で地域住民の皆様と交流を回りながら、全力でまちづくり・まちおこしに寄与していく「179市町村応援大使」をはじめるとし、2013年網走市では、中田翔選手と谷口雄也選手が応援大使を務めます。